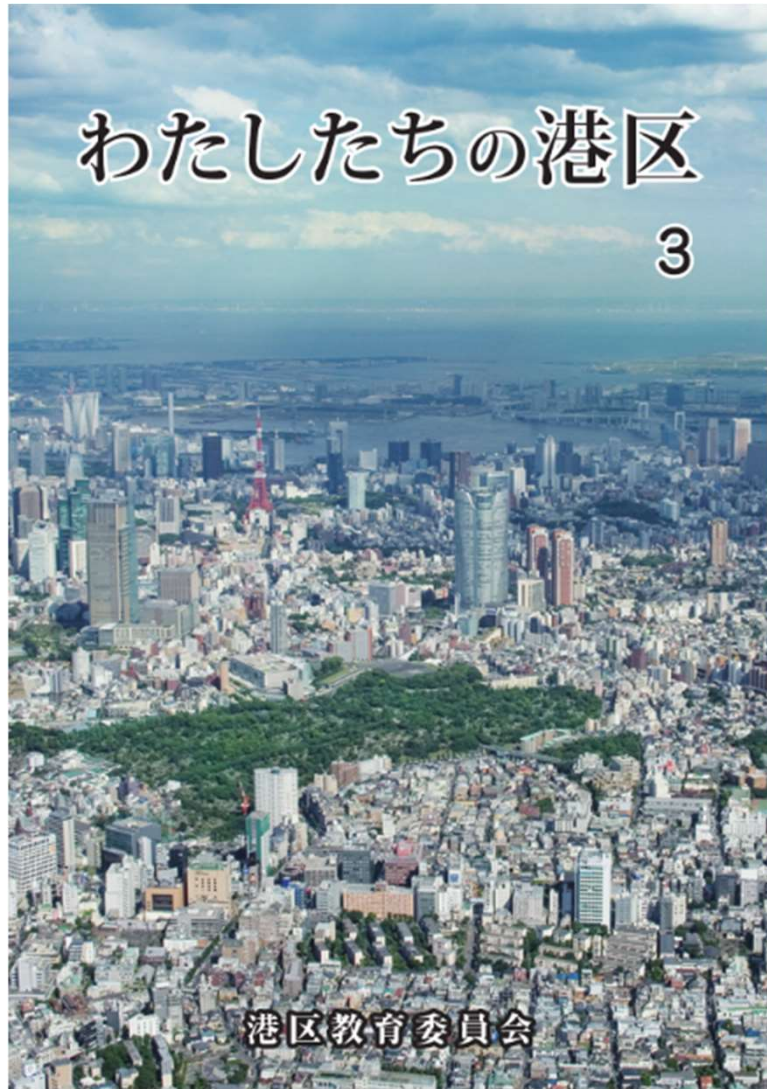


副読本の比較 港区：他自治体（阪南市）

港区



対象
小学3年生

表紙

他自治体
(阪南市)

対象
～6年生



副読本の比較 港区：他自治体（阪南市）

港区

わたしたちの港区

目次(もくじ)

- ① わたしたちのまち みんなのまち 2
 - (1) 学校のまわりの様子 2
 - (2) 港区の様子 8
- ② わたしたちのくらしとはたらく人 34
 - (1) 店ではたらく人 35
 - (2) わたしたちのくらしと工場 44
- ③ わたしたちのくらしを守る 54
 - (1) さいがいからくらしを守る 54
 - (2) じこやじけんからくらしを守る 68
- ④ 港区の様子のうつりかわり 78

「もっと知りたい港区のこと」4年生で勉強するところ 104
 「港区あれこれ -さんこうしゅう-」 110

港区平和都市宣言

かけがえない美しい地球を守り、世界の相久平和を願う人びとの心は一つであり、いつまでも変わることはありません。

私たちが真の平和を望みながら、文化や伝統を守り、生きがいに満ちたまちづくりに努めています。

このふれあいのある郷土、美しい大地をこれから生まれ育つ子どもたちに伝えることは私たちの務めです。

私たちは、我が国が「非核三原則」を堅持することを求めるとともに、ここに広く核兵器の廃絶を訴え、心から平和の願いをこめて港区が平和都市であることを宣言します。

昭和60年8月15日
港 区



これから港区について学習していきましょう。上のQRコードを読み上って港区のたびに出かけよう。





港区役所

目次

他自治体（阪南市）

はんなんのうみ もくじ

<ul style="list-style-type: none"> 1 阪南市の海洋教育 <ul style="list-style-type: none"> 1. 海洋教育の取り組み 4 2. 海を活かした海洋教育 6 <ul style="list-style-type: none"> アマモの栽培活動 6 海を活かして 10 3. 川を活かした海洋教育 16 4. 山を活かした海洋教育 20 5. 取り組みを発信しよう 28 2 ゆたかな自然を守っていくために <ul style="list-style-type: none"> 1. 自分たちの生活をふりかえて 30 2. 海をとりまく環境問題 32 3. 環境を守る取り組み 36 	<ul style="list-style-type: none"> 3 阪南市の海 <ul style="list-style-type: none"> 1. 阪南市の海 42 <ul style="list-style-type: none"> 2. 海の生き物 44 3. 阪南市の漁港 50 <ul style="list-style-type: none"> ・尾崎港 50 ・西鳥取漁港 52 ・下荘漁港 54 ○ 安全に活動するために 56 ○ プラスチックの旅すごろく 62
---	---

学習の進め方

「はんなんのうみ」をつかって、友だちと話し合ったり、タブレットや図かんなどを使ってさらに調べたりしながら学習を進めていきましょう。

学習がだい

このページで考えるポイントです。かくにんして学習を進めよう。

はなぼん

活用

活用

ほかの教科の学習にもつながる内容です。

なみびち

けんさくワード

このページに隣りのある言葉や内容について説明をしています。自分でも調べてみよう。

アマゴロウ

2

3

内容

「港区平和都市宣言」、区のプロモーション動画ページへリンクするQRコード、港区役所の写真、と目次と直接関係ないものを掲載

内容

目次とともに「学習の進め方」というガイドがある

副読本の比較 港区：他自治体（阪南市）

本編

港区

他自治体（阪南市）

わたしたちの港区

(2) わたしたちのくらしと工場
港区には、どんな工場があるのかな

印刷
お酒
わがし
自動車
ねじ

学習問題を作ろう

「おいしそうかわがしだね。」
「港区にあるわがし屋さんだね。」
「おもしろい形のもなかだね。」
「どうしてこんな形をしているのかな。」
「たくさんの人が、何をつくっているのだろう。」
「気がついたことをもとに、学習問題を話し合しましょう。」

【学習問題】
工場では、おかしをおいしく作るために、どのような工夫をしているのでしょうか。

切腹もなかのふくろのうらには、何が書かれているのでしょうか。

「お店の場所がわかるね。」
「使われている、ざいりょうも書いてあるみたいだね。」
「お店のホームページを見たら、何かわかるかもしれないわね。」

どのような工夫をしているか予想しよう。

予想

「スーパーマーケットでお弁当を作っている人たちが、手を消どくしたり、服ぞうに気をつけていたりしたら、きっと工場でも気をつけていると思う。」
「たくさんの人が仕事を分たんで、おかしが作られていると思うな。」
「作っているかたが、どのようないで作っているのかな。」

みんなで予想を話し合った後、工場で見学すること、聞いてくることをまとめました。

見ること

- おかしができるまでの順じよはどうなっているのか。
- はたらいている人は、どんな仕事をしているのか。
- はたらいている人は、どのような服ぞうをしているのか。

どうやってまとめたらいいのかな？

聞くこと

- はたらいている人が気をつけていることは何か。
- おいしくするためにどのような工夫をしているのか。
- できたおかしは、どのようにはん売されているのか。

わたしたちの港区

石ころをさがす

海を活かして
石ころアート

たくさんの石ころを海岸で探つけました。この石ころは何の形に見えますか。

活用
2年国工
「ざいりょうからひらめき」

何に見えるかな？

石ころアートをしよう

かなみさんたちは海の活動を行いました。そこで、たくさんの石ころを見つけ、学校に持ち帰り、図工の時間に石ころアートをしました。

「石ころアートはひらめきが大切だよ。何に見えるかな。」

1. 白い紙に石ころの形をかたどります。
2. 石の形から、ひらめいたものを白い紙に描いていきます。
3. 下書きを参考にしながら、石ころにカラーペンやクレヨンで色をぬります。

「次は、自分たちでとってきた海藻で、海藻おしばをつくってみたいな。」

海藻おしばづくりにチャレンジ

まことさんたちは、ビーチコーミングで貝がらやシーグラスを集めたことを思い出していました。

「海辺では貝がら以外にも赤や緑の海藻がたくさんあったよ。」
「今度は海藻を使って、何か作品をつくれなかな？」

阪南の海では、アナアオサ・ワカメ・オゴノリなどの海藻がよく見られます。これらの色あざやかな海藻を使って、台紙にならべた作品が海藻おしばです。わたしたちは先生に教わって、海藻おしばの絵葉書づくりにチャレンジしました。

1. 採集。
2. 水で洗う。
3. 海藻を洗ふ。
4. バットの真ん中で海藻を広げる。
5. 海藻の下に台紙を入れる。
6. ピンセットなどを使って形を整える。
7. 水気をきり、吸水紙の上に置いておく。
8. おもしをせて、3～7日間乾燥させる。

内容

製品の製造過程を知ること自体は大切だが、製造業者数（工場）が特段多い区でもなくわたしたちのくらしと働くひととして「くらしと工場」というテーマ設定の意図は疑問

内容

地域特性を捉えて話題を展開している

副読本の比較 港区：他自治体（阪南市）

本編

他自治体（阪南市）

港区

わたしたちの港区

わたしたちの港区

港区の5つの地区を見てみよう

芝地区

面積	4.43km ²	人口	41,485人
駅数	12駅	外国人	2,716人
小学校	3校	大使館	11カ所

①テレビ東京
②海上寺と東京タワー
③芝公園と東京タワー
④みなと図書館
⑤三田図書館
⑥赤羽小学校
⑦芝小学校

しらべる

⑤愛宕神社
⑥日新橋停車場
⑦港区役所
⑧港区役所 芝地区総合支所
⑨日本テレビ
⑩虎ノ門ヒルズ
⑪世界貿易センタービル
⑫新橋駅とゆりかもめ

24

25

内容 デザイン

地区分け自体行政都合。
小3対象に地区ごとのデータをここで教育する必要性が疑問。
写真の質、レイアウト含め精査が必要。



下荘漁港

下荘漁業協同組合は、底引きあみ、刺し網漁、定置網漁、流し網漁、たこ漁などさまざまな漁法で行っています。1隻の船に3人ほど乗って、朝5時から8時ごろまで漁に出ています。とってきた魚を種類や大きさなどで仕分け、昼からセリを行い、登録している方が買いつけにきます。

春から冬は、さわら獲しという漁法で、サワラ、タイ、チヌ、ハモをとっています。冬から春は、底引き漁法で、アカシタエビ、イカをとっています。

活用
5年社会
「水産業のさかんな地域」

の人に楽しんでもらえるイベントを行おうと「地引網体験」「潮干狩り」を行っています。

下荘漁業協同組合 西澤さんの話

近年の大阪湾は、とても海水は美しく見えているけれど、栄養がなくなっているかと思っています。そして、とれる魚も少なくなってきているので、稚魚の放流をして魚を増やす取り組みを行っています。

以前は約60人いた組合員も今は、約40人になりました。だんだん組合員の高齢化が進んできて、減ってきていることが気になります。

みなさんに、もっとおいしく魚を食べしてほしいです。下荘漁港でよくとれるアカシタは、煮つけはもちろん、一夜干しにして焼いて食べると、とてもおいしいです。

活用
5年社会
「水産業のさかんな地域」

アカシタの煮つけ
アカシタのからあげ

内容 デザイン

本編で伝えるべきこと、コラムなどの補足情報の位置が考えられている。写真選定も質を保っている。

5

副読本の比較 港区：他自治体（阪南市）

付属資料

他自治体（阪南市）

港区

わたしたちの港区

年	人口	行政区	概要	区立小学校
1868	1,000	港	開港の地として	区立小学校
1870	1,500	港	開港の地として	区立小学校
1872	1,500	港	開港の地として	区立小学校
1873	1,500	港	開港の地として	区立小学校
1875	1,500	港	開港の地として	区立小学校
1878	1,500	港	開港の地として	区立小学校
1880	1,500	港	開港の地として	区立小学校
1886	1,500	港	開港の地として	区立小学校
1896	1,500	港	開港の地として	区立小学校
1903	1,500	港	開港の地として	区立小学校
1909	1,500	港	開港の地として	区立小学校
1920	1,500	港	開港の地として	区立小学校
1923	1,500	港	開港の地として	区立小学校
1925	1,500	港	開港の地として	区立小学校
1933	1,500	港	開港の地として	区立小学校
1939	1,500	港	開港の地として	区立小学校
1940	1,500	港	開港の地として	区立小学校
1941	1,500	港	開港の地として	区立小学校
1943	1,500	港	開港の地として	区立小学校
1944	1,500	港	開港の地として	区立小学校
1945	1,500	港	開港の地として	区立小学校
1947	1,500	港	開港の地として	区立小学校
1950	1,500	港	開港の地として	区立小学校
1953	1,500	港	開港の地として	区立小学校
1955	1,500	港	開港の地として	区立小学校
1958	1,500	港	開港の地として	区立小学校

わたしたちの港区

港区あれこれ ～さんごうしりよう～

MINATO CITY 港区

PRICK UP DATA 2013

71.1% 8.1% 1.25%

84.1% 940.785%

15,897.1% 2,099,308.1%

17.1% 91%

74.4% 38,945.5%

110

111

年	人口	行政区	概要	区立小学校
1991	1,500	港	開港の地として	区立小学校
1992	1,500	港	開港の地として	区立小学校
1993	1,500	港	開港の地として	区立小学校
1995	1,500	港	開港の地として	区立小学校
1996	1,500	港	開港の地として	区立小学校
1999	1,500	港	開港の地として	区立小学校
2000	1,500	港	開港の地として	区立小学校
2002	1,500	港	開港の地として	区立小学校
2003	1,500	港	開港の地として	区立小学校
2005	1,500	港	開港の地として	区立小学校
2007	1,500	港	開港の地として	区立小学校
2008	1,500	港 <td>開港の地として</td> <td>区立小学校</td>	開港の地として	区立小学校
2020	1,500	港	開港の地として	区立小学校
2021	1,500	港	開港の地として	区立小学校
2022	1,500	港	開港の地として	区立小学校

プラスチックの旅

～プラスチックゴミの行方を知ろう～

スタート!

みんなゴールにたどりつけるかな?

ゴール1: ゴミ処理場で焼却される

ゴール2: リサイクル工場で原料になる

ゴール3: 海洋に打ち上げられる

ゴール4: 海の生物に食べられる

ルール: サイコロをふり、でた目のサイコロを走らそう! サイコロ(1個)を走らそう! (人数分) こま (人数分)

ポイント: 点線は自動で進めます。

出典: 大阪湾環境保全協会

内容 **デザイン**

- 非常に多くの情報を羅列
- 大人が読む情報をそのまま載せている
- 掲載写真と情報の繋がりも読み取りにくい

内容 **デザイン**

本編のテーマに関連する環境についてゲーム的要素が入っており興味関心を得る努力がなされている。

6

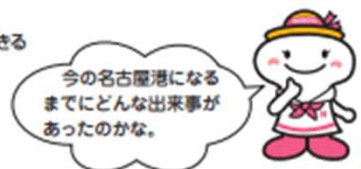
副読本 他自治体『わたしたちの名古屋港』



<https://www.port-of-nagoya.jp/shokai/kohoshiryo/portofnagoya/1003490.html>

名古屋港のあゆみ

- 1906年 (明治39年) ●「ろせつ丸」が来る
- 1907年 (明治40年) ●名古屋港ができる
- 1936年 (昭和11年) ●中央ふ頭、東ふ頭ができる (現在のガーデンふ頭)
- 1951年 (昭和26年) ●名古屋港管理組合がつけられる
- 1959年 (昭和34年) ●伊勢湾台風によって大きな被害を受ける
- 1961年 (昭和36年) ●せい鉄工場の進出をきっかけに産業施設ができる
- 1964年 (昭和39年) ●高しお防波堤ができる
- 1972年 (昭和47年) ●本格的なコンテナふ頭ができる
- 1981年 (昭和56年) ●ガーデンふ頭ができる
- 1984年 (昭和59年) ●名古屋港ポートビル・名古屋海洋博物館ができる
- 1992年 (平成4年) ●名古屋港水族館ができる
- 1995年 (平成7年) ●名古屋港シートレイランドができる
- 1998年 (平成10年) ●名港トリトン(名港三大橋)ができる
- 2001年 (平成13年) ●海棲ほにゅう類を飼育できる水そうをもった名古屋港水族館北館ができる
- 2002年 (平成14年) ●藤前干潟がラムサール条約に登録される
- 2005年 (平成17年) ●飛島ふ頭南側に水深16mのコンテナターミナルができる
- 2007年 (平成19年) ●開港100周年をむかえる
- 2017年 (平成29年) ●レゴランド®・ジャパンができる



地域副読本 作成の手引き by 教育出版

目次

I. 地域副読本の役割と類型	3
II. 地域副読本編集・作成の手順と実務	4
III. 学習指導要領における地域学習	10
IV. 単元構成と各単元の展開例	17
第3学年	
① 身近な地域や市区町村の様子	18
② 地域に見られる生産や販売の仕事	22
③ 地域の安全を守る働き	28
④ 市の様子の移り変わり	32
第4学年	
① 都道府県の様子	37
② 人々の健康や生活環境を支える事業	38
③ 自然災害から人々を守る活動	42
④ 県内の伝統や文化	44
⑤ 地域の発展に尽くした先人の働き	46
⑥ 県内の特色ある地域の様子	48

この冊子は、新しい学習指導要領（平成 29 年 7 月 告示，2020 年度全面実施）に基づいた、小学校社会（第 3 学年及び第 4 学年）の地域副読本の編集・作成の手引きです。ここに示した編集・作成の手順，単元構成や展開などの内容は、いずれも一つの例にすぎません。各地域で、創意・くふうにあふれた特色ある地域副読本を編集・作成し、地域学習のますますの活性化を図ってください。その際に、この冊子が参考になれば幸いです。

<https://www.kyoikushuppan.co.jp/textbook/shou/shakai/files/tebiki2020.pdf>